

リアル

最大の奇抜

未知の領域に挑む
江戸絵画のリアル

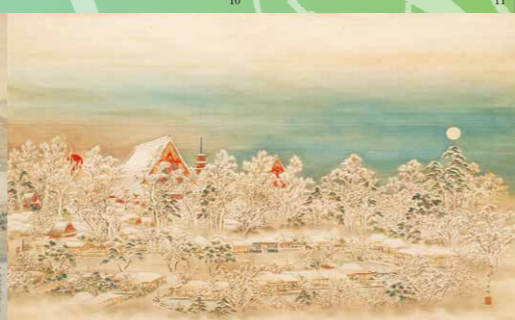
平成30年3月10日[土]—5月6日[日]

Real: The Greatest Eccentricity

春の江戸絵画まつり



天明紀元辛丑暮秋寫
應舉



■ 休館日

月曜日(4月30日は開館)

■ 開館時間

午前10時—午後5時(入場は4時30分まで)

■ 観覧料

一般: 700円(560円)

高校生・大学生: 350円(280円)

小学生・中学生: 150円(120円)

※()内は20名以上の団体料金

※未就学児および障害者手帳等をお持ちの方は無料

※常設展もご覧いただけます

※府中市内の小中学生は「府中っ子学びのバスポート」にて無料

主催: 府中市美術館

※本展の他会場への巡回はありません

2度目は半額!

観覧券をお求めいただくと

2回目は半額になる割引券が付いています

(本展1回限り有効)

■ 20分スライドレクチャー

毎週日曜日 午後2時 講座室 無料

■ 展覧会講座

5月5日(土)

リアル—江戸絵画を面白くしたもの

金子信久(当館学芸員)

午後2時 講座室 無料

■ 子ども向けイベント「リアル探検隊!

会期中随時

展覧会を見ながら「探検隊ワークシート」のクイズに挑戦。観覧料が必要ですが、府中市内の小中学生は、「府中っ子学びのバスポート」で入場できます。年齢制限はありませんので、大人の方の参加もお待ちしております。

■ 同時開催

常設展「寺田小太郎レクシヨンの魅力」

牛島憲之記念館「牛島憲之と昭和」

公開制作「公開制作アーカイブ」

■ 次回の展覧会

長谷川利行展

5月19日(土)—7月8日(日)

■ 次回、春の江戸絵画まつり

へそまがり日本美術

禅画からヘタウマまで

2019年3月16日(土)

5月5日(日)

人は、きれいなもの、立派なもの

にだけ心惹かれるわけではありません。

「へそまがり」な感性が生んだ

日本絵画の数々をご覧ください



与謝蕪村《寒山拾得図》(双幅・部分)

- 京王線東府中駅北口から
 - ・徒歩17分
 - ・ちゅうバス府中駅行き「府中市美術館」①下車すぐ(8:05から毎時30分間隔で運行、100円)
- 京王線府中駅からバス
 - ・ちゅうバス多摩町行き「府中市美術館」①下車すぐ(8:00から毎時30分間隔で運行、100円)
 - ・武蔵小金井駅南口行き(一本木経由)「天神町二丁目」②下車すぐ
 - ・武蔵小金井駅南口行き(学園通り経由)「天神町幼稚園」③下車徒歩8分
 - ・国分寺駅南口行き(東八道路経由)「天神町幼稚園」③下車徒歩8分
- JR中央線武蔵小金井駅南口からバス
 - ・府中駅行き(一本木経由)「一本木」④下車すぐ
 - ・府中駅行き(学園通り経由)「天神町幼稚園」⑤下車徒歩8分
- JR中央線国分寺駅南口からバス
 - ・府中駅行き(東八道路経由)「天神町幼稚園」⑤下車徒歩8分
- お車の場合は、美術館近くの府中市臨時駐車場(無料、60台収容)をご利用ください。



作品の展示替えを行います。*全作品ではありませんが、大幅な展示替えを行います。

前期 3月10日(土)—4月8日(日) 後期 4月10日(火)—5月6日(日)

詳しい予定は、ホームページまたはハローダイヤルでどうぞ(2月上旬より)。

府中市美術館
Fuchu Art Museum

東京都府中市浅間町1の3
www.city.fuchu.tokyo.jp/art/
ハローダイヤル 03(5777)8600





既成の美の手段を破壊した創作者たち

リアル

最大の奇抜

リアルに描くことは美術の基本……そう考えている人は少なくありません。明治時代の欧化政策を背景に、近代以降、西洋の画法をあらゆる美術の基本とする考え方が日本に定着したからでしょう。しかしそれは、言うまでもなく近代の話であり、きわめて限られた「リアル」のあり方です。古くからの日本の絵画を思い浮かべてみてください。逼真性にこだわらない、純粹な色や形そのものから醸し出される美しさは、日本絵画の大きな魅力だったのです。

江戸時代になると、そんな日本の絵画の「美しいものづくり」のうえでは必要とされなかった、あるいは意識外だったことを追求する画家が現れます。その一人が円山応挙です。応挙は、徹底した「リアル」の画家です。目に映るありさまを冷静に分析して画面に表してみる、いわば既成の美の手段を破壊した創作者でした。

「画を求めるなら自分に、図を求めるなら円山応挙に頼めばよい」。これは、今日「奇想の画家」と呼ばれる曾我蕭白が語ったと伝えられる言葉です。人気の応挙を向こうに回し、個性で勝負する蕭白の意気を示すものとして、よく知られています。しかし、蕭白といえば、中世以来の禅画の創作精神をも汲む画家です。見方を変えれば、旧来の芸術観をもつ蕭白にとって、科学的な目や技術から新しい絵づくりを試みた応挙の作品は、もはや別世界のものだったのかもしれない。たとえこの言葉が蕭白自身のものではなかったとしても、当時の人々の「リアル」に対する一つの受け取り方を示す、非常に興味深い内容ではないでしょうか。

江戸時代中期以降、応挙や江戸の司馬江漢ら、さまざまな画家たちが、思い思いに手法を考え、迫真的に表すことから生まれる未知の絵画の魅力を探っています。西洋絵画を目標にした明治以降とは違い、彼らの作品は、見た目も技法も多様です。また、それまでの「絵画の美とはこうあるべきだ」という考えや美意識と葛藤する様子、あるいは融合を試みる様子もみられます。

ともすると近代の先駆けとみなされることの多い江戸時代の「リアル」ですが、本展ではそのようなことに縛られずに、むしろそれを疑いつつ、作品に向き合いたいと思います。未知の領域に挑む画家たちの、濃密で素晴らしい創作の数々を、ぜひご覧ください。

旧来の芸術観とは別世界のリアリティー



- 表紙：円山応挙 鯉図 前期・後期とも展示
 1 森里仙 群像図巻 前期・後期とも展示
 2 砥園井特 美人図 後期展示
 3 墨江武輝 月下山水図 府中市美術館蔵 前期展示
 4 本多菊圃 蓮籠図 後期展示
 5 原在中 鶏頭花園 敦賀市立博物館蔵 後期展示
 6 司馬江漢 円窓唐美人図 府中市美術館蔵 前期・後期とも展示
 7 織田琴々 異牡丹桜真図 西宮市笛部桜コレクション (白鹿記念酒造博物館寄託) 前期展示
 8 円山応挙 大石良雄図 百精資料館蔵 前期展示
 9 葛蛇玉 鯉図 後期展示
 10 村松以弘 白糸瀑図 掛川市二の丸美術館蔵 静岡県指定文化財 前期展示
 11 太田潤玉 神農図 府中市美術館蔵 後期展示
 12 円山応挙 雪中鷺鷥図 前期展示
 13 原在中 天橋立図 敦賀市立博物館蔵 前期展示
 14 長谷川雪堤 浅草雪景図 立花家史料館蔵 後期展示
 15 円山応挙 猛虎図 繪水軒記念文化振興財団蔵 (府中市美術館寄託) 前期・後期とも展示
 16 司馬江漢 湖辺遊禽図 長崎歴史文化博物館蔵 前期展示
 17 片山楊谷 虎図 後期展示

